

定年後を明るく

定年退職者や、定年を目前にひかえる男性を対象にした人生設計の講座「これが男の生きる道！」が二十一日、大津市浜大津四の明日都浜大津であった。会社のために身を粉にして働いてきた五十代、六十代の男性二十人が、第二の人生のやりがいを見つけようと、参加した。

(山内晴信)

大津 50、80代男性 人生講座

「今、一番やりたいことは何か」。講座の合間に大津市丸の内町、無職青山茂さん(左)に尋ねると、明確な答えを出せなかった。今月十三日まで、銀行や電機製造会社などに四十二年間勤めていた。冷蔵庫部品工場の工場長をしていた際、朝八時から深夜まで休む暇もなかった。六年前に妻が他界。四人の子の結婚以外に望むことは無くなった。

市男女共同参画社会課によると、定年退職後、時間を持て余していたり、職場以外での人間関係が希薄な人が悩みを抱えている例は



吉田さん(右奥)の話に耳を傾ける参加者—大津市浜大津4の明日都浜大津で

吉田清彦さん(六七)は「自分」「家族」「地域」の三領域で、一、五年後にそれぞれ何をしたいか目標を設定するよう提案。目標設定のためパソコンの使い方の習得▽地域の回覧板に目を通す—など、地域と関わるための情報を探す方法を教えた。

参加者を四グループに分け、テーマを決めて話し合った。最初は下を向いていた参加者も笑顔で、冗談を言い合うようになっている。

大津市湖城が丘の無職鈴木寿信さん(七三)は「みんなと話し合って、さまざまなことを学べた」と満足げ。吉田さんは「男性は知らない人同士での会話に慣れていない。しゃべるのは楽しいと思えば、地域のグループにも入っていける」と強調した。

講座が終わってからも、もう一度、青山さんに同じ質問をした。「他の人の生き方を知って、参考になった。パソコンを習って、趣味を検索してみたい」と今度は力強く話した。